

C. A. P. 役員が安全・安心な地域づくりのため、
広報啓発活動に参加しました。

詐欺に注意 高校生が啓発



買い物客(左)に特殊詐欺への注意を
呼びかける高校生

西条警察と連携チラシ配布

身近な犯罪被害を減
らそうと、西条市内の
高校生でつくる防犯ボ
ランティアグループ
「C. A. P.」が25日、
西条、西条西の両署と
連携して特殊詐欺や自
転車盗難への注意を呼

びかけた。

同市丹原町池田の農
産物直売所「周ちゃん
広場」では小松、東予、
丹原の3校の生徒18人
が、還付金詐欺の手口
などを紹介するチラシ
を配布。小松高3年の
田中心美さん(18)は
「詐欺の手口を知って
もらい、不審な電話や
メールに備えてほし
い」と訴えた。

西条高と西条農業高
の計17人は、同市大町
のJR伊予西条駅で自
転車の盗難を防ぐよう
活動した。西条署によ
ると、2024年の管

内の自転車盗難41件の
うち21件が同駅周辺で
発生。生徒は駐輪場に
無施錠で置かれている
自転車に、二重ロック
を推奨するカードを取
り付けた。

西条農業高3年久門
虎牙さん(17)は「活動
を通じて、自転車を数
分離れるだけでも鍵を
かける大切さを再確認
した」と話した。

(伊藤義樹)

写真の生徒は丹高生です。
笑顔で、地域の方と話しが
できました。地域の方からも、
笑顔を返していただきました。
活動のやりがいを実感しま
した。

C. A. P. は、Culture(文化)Area(地域)Protector(擁
護者) 高校生によるボランティア団体です。
地域の他校生と連携して、地域と文化を、自分たちの
力で守っていきこう。